

●竹蛇籠設置の事前準備完了。 2月14日・15日

2月14日(木)に軽トラック2台分の炭焼きの原木が運ばれました。又20日には 播川、森島、大村、金田さんが伐採木の運び出し作業を実施しました。翌日15日(金)の朝から竹門先生と太田さん、有田さんで竹蛇籠の設置位置を測量して杭打ち34本を行い、竹蛇籠4本を現地に固定しました。続いて松美建設さんにその周りへ栗石を運び込んでいただき、竹蛇籠設置の事前準備は全部完了しました。



●栗石詰め作業に29人が集まってくれました。 2月17日(土)

当日9時30分に29人が集合場所に集まってくれました。朝の内は曇天でしたが集合時間頃には適当な暖かさになり、竹門先生から取り組みの狙いや効果、地形の変化の説明があり、全員が自己紹介を行い新しい仲間の輪が深まりました。昨年9月に竹選びや竹割を行って、10月に京都植物園で竹蛇籠製作講習会を開き、11月に4mの蛇籠を6mに作り替え、2月初めから位置出しや栗石運びや杭打ちの事前準備を行って完成させました。この時期は木津川の水位が40cmも低くなっていたので作業が上手く進みました。きっと夏には水位が上がって魚の良さみかになっているでしょう。魚が増えて、子どもたちとの魚とりができる楽しい水辺になっていることを期待しています。



●城北ワンドでの活動 —城北ワンド除草作業に参加して—

イタセンパラの生息が確認できている唯一の地点「城北ワンド」。ここでイタセンパラの生息環境保全のためにブラックバスやブルーギルといった外来種駆除やゴミ拾い、除草作業などの活動を繰り返しているのが「淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク(通称:イタセンネット)」です。

※城北ワンド(淀川河口から12kmほど上流)は大阪市旭区にあるワンドです。

※木津川に中聖牛が設置されているのは、淀川河口から 52km ほどの地点。

※大阪工業大学は城北ワンドに隣接しています。

やましろ里山の会主催の「木津川の将棋頭型竹蛇籠水制づくり」が開催された 2 月 17 日、同日の午前中に除草活動がありましたので参加してきました。参加者は大人 10 人ほどに大阪工業大学と大阪産業大学の学生併せて 15 名程度でした。2 時間程度の活動でしたが、たくさんの草を集めることができました。また、どこから流れてきたのか分からないペットボトルやビニール袋、丸太なども回収することができました。



ところで、2 月 1 日の毎日新聞のニュース「イタセンパラ、どこへ 淀川水系生息域で確認できず 2023 年調査」はご存知でしょうか？2023 年 12 月に開催された「淀川水系流域委員会」において、2023 年はイタセンパラを確認することができなかったと報告されたようです。イタセンパラが確認できなかった原因はなんなのか？分からないことだらけかもしれませんが、気にかけていきたいな～、気にかけてほしいな～と思い、文章にしてみました。

※毎日新聞のニュースはインターネットで検索できます。(小川 芳也 大阪工業大学)

●里山農園の新しい課題として、心の悩みをもつ人たちの癒しの場所に役立てられたらと学習会を開きました。2 月 16 日には 11 人の皆さんが出席いただきました。子どもたちや先生たちが置かれている現状で相互が失敗から学ぶ場（ゆとり）が少なくなって(学力中心で)楽しい部分が厳しくなっていることが理解できました。



講演会 里山農園のための心の悩みをいやすために 2月16日 戸谷嘉之

学校は教師にとっても子どもたちにとって楽しいところになっているのだろうか
好きにやりたいことが出来た教師生活だったが、今苦しい時代になっていると思う
早く退職したが、ひどくなってきたので退職した
自由な遊び時間は無くなってきている
勉強は全国学力テスト 2008 年以來 わかる事業や面白い授業が見られなくなってきた
点数主義でテストテストのながれで 宿題宿題の連発
親の不満 できる子とできない子の差が拡大
間違いから学ぶことの大切さが 忘れ去られている (現代社会の流れ)
決まり 規範主義の横行 スタンドアートの強まり
はみ出しや適当なのが子どもも特性
道徳の教育か トラブルや逸脱・立ち止まったり間違えることが子どもの宝物
建前での協調・……岸田首相の答弁
先生のゆとりのなさ 息苦しい 雑談もやりにくい。 幅広い視点が持てない 教師
への信頼性のなさ 軽薄さの増大(実質とは違う……早く退職する) 任せてもらえない
複数教師 ベテラン教師の経験若手には負担になる
学校は子どもの遊び場、生きる場になっているのか 不登校の発生
不登校の子供たちに「意志」あり 学校に行かないという意思がある
本当は学びたい まあいとのペースで それが保障されない
なぜ、どうして、おかしいのではない、それが許されない 口に出せない許されない
家族や友達のなかで、ほっこりとゆっくりと癒されたい自然に生きる
ゆっくり生きる。弱さも欠点も。出来ない事も含めて人間の成長ベースに無ければ
丸ごと人間なのである。(自己肯定論)

登校拒否生徒数 小学校 105,112 人 6,223,401 人 中学校 193,936 人 3,177,508 人
高校 299,048 人 2,909,703 人

※戸谷様の概略

大人も子どもも楽しい遊び場としての役割がある
失われている広場としての役割が大きい
農業栽培に加えて
自然を使用した創意工夫が発揮できる施設

里山の会は山城大橋東詰めポイントを受け持って32人が集まっていたいただき木津川での清掃作業をしました。全体で昨年は549人44団体でしたが、今年は575人54団体の協力へと広がりました。



アカミミガメ
(条件付特定外来生物)
食性が多岐にわたるため、
在来生物群集に大きな影
響を与えると考えられてい
ます。

して生物多様性センターが設立されました。予期していなかったことです。期待が高まっています。どう成長させてゆくのがこの総会の大きな任務です。

●**大阪市中央公会堂で水フォーラムが3月2日（土）に開催されます。**

基調講演は日本を代表する講師で国交省の前河川局長の尾田栄章さんや JT 生命誌研究館名誉館長の中村桂子さんがお話をされます。講演後の昼食時間帯に里山の会が活動紹介の発表をすることになっています。昼食後の討論の部では竹蛇籠でおなじみの竹門康弘先生や水文化でお世話になってきた鈴木康久先生がパネラーとして登壇されます。会場は京阪淀屋橋駅徒歩5分の中央公会堂です。里山の会ではこの取り組みを第26回自然と環境講演会として位置付けて、一括で参加を申し込み、交通費を会負担することに決定いたしました。会員限定で、参加申し込みはメールでお願いします。JR 学研都市線京橋駅で京阪電車に乗り換え、淀屋橋駅で下車してください。会場で交通費をお渡しいたします。奮ってご参加をお願いいたします。

申し込みは fddb257@yahoo.co.jp で、氏名・住所・電話番号をお願いします。



●**炭焼き体験 2月23日(金) 京田辺市打田（旧府道）**

原木の窯詰め作業を実施します。ようやく一窯分の原木が用意出来ました。21日現在では太くて大きなものがまだ割り切れていませんが、何とか窯に詰め込めるようにしたいを思っています。着火は25日に行います。頑張ってみましょう。皆様のご参加を大歓迎いたします。9時には作業を始めます。



●**乙訓の自然・講演 3月7日(木) 午後1時～ 場所：京田辺市立中央公民館**

乙訓の自然を守る会の代表である宮崎様にご都合をつけていただくことができ、講演を実施することになりました。京都府下の自然環境運動の先駆けとしてのお話をいただけるものとして多くの方のご参加をお願いします。